委員会だより

＜ 1月 19日 (日) **カンペンハウド神父様他 10** 名出席 ＞

1、カンペン神父の話
- ◆山崎神父を訪問、本は全て神学校に寄付することで話がついた。
  取り敢えず、教会に置きたい本を取り除けた上で、上杉神父とも相談、神学生も呼んできて、必要な本はさしあげ、信徒の方でも欲しいのがあったら、これもさしあげ、2月下旬までに全て処分する。
- ◆「司祭のマリア運動」のことは司教様に相談したが、「土日は共同体のミサに参加すべきで、グループでのミサは望ましくない」とのことで、集まるのはいいがミサは遠慮願いたい。

2、平成14年度一般会計決算報告(甲斐委員)
- ◆収入:月定献金の献金額が減っており、予算未達　ミサ献金も減っている。一方、特別献金は増えていて、収入は予算を上回っている。
- ◆支出:外部の神父様方に来ていただいたためミサ謝礼が増加。消耗品費は、香炉つり、ミニロッカー購入などで予算超。

3、平成15年度一般会計予算案審議
- ◆詳細は1月26日(日)開催の信徒総会において説明される
- ◆カンペンハウド神父様から、先々残高(繰越金)が少なくなっていくのは危険。何か献金を増やすなど施策はあるのかとの質問があった。
  これに対し甲斐委員から、建設会計支払いが本年度で終了する。加えて信徒総会で献金増額をお願いするとの解答があった。

4、平成14年度建設会計決算報告
- ◆ 特に問題はない。

5、平成15年度建設会計予算案審議
- ◆ 詳細は信徒総会において説明。
- ◆建設献金を次年度以降も持続するのか、それとも一般会計のジリ貧対策と一緒にするのか、一般献金を増やすことをお願いするのかなど今後の問題としての話も出たが、カンペン神父から最終財務責任者は主任司祭なので、新しい神父様を待って結論を出した方がよいとの助言があった。

6、その他会計に関する話し合い
- ◆献金が減っている理由として、信者が減っている現実がある。
- ◆ 一般的な月定献金の額はという質問に対し、カンペン神父様は〈月収の2% 以上〉が目安ですと話された。
- ◆「小学生はいるが、中高校生が少ないねぇ」とのカンペン神父の感想。そして「これは教会全体の盛り上がりの問題だ」と言われた。

7、愛の献金
- ◆ 特に問題はない。

8、信徒会計
- ◆平成14年度は青少年活動に1円も使われなかったことについて、カンペン神父様は「小さいときから研修の場に参加させた方がいいよ」と言われた。

9、信徒総会段取りの検討
- ◆カンペン神父様は当日出席できないので、手紙で挨拶を送ってくださる予定。
- ◆バザー日程について10月19日に実施の案がでた。その場合壮年会・婦人会の例会は12日に前倒しとなる 。

⇒壮年会、婦人会でも検討してもらう。

10、その他
- ◆ 2月9日のミサの後、カンペン神父様が信徒に向けて話をされる。
- ◆ 神父様の要望で、2月9日委員会のあと、典礼委員さんと委員長に、神父様が四旬節に向けた典礼の話をされる。

【次回委員会は、2月9日(日)ミサ後】

婦人会だより

＜ 1月 19日 (日) 39名出席 ＞

✪ 平成15年度婦人会総会
① 平成14年度一般及び特別会計・会計報告(資料参照)
② 平成14年度年間活動報告(資料参照)
③ 会計監査報告(岩崎)
④ 新役員紹介と新旧会長挨拶

✪ 平成15年度・1月例会
① 会費は引続き100円で承認。
② 遠足は今年もなしで承認。
③ ミサにおける聖書朗読と奉納担当:毎月第3日曜日
聖書朗読は、地区に関係なく、2名で第1、第2朗読および共同祈願を担当。奉納は典礼委員さんに一任、または朗読者が行なう。
④ バザー奉仕日は、「糸の会」と合同で、第1、第3木曜日、午後1時~4時(3月~7月)に行なう。

✪ 新年会
カンペンハウド神父様のご挨拶から
「これからは信徒の時代ですから、何からできるか、10年先はどうか、青少年の教会離れ、信徒はよろこんでイエスさまの所へ行かれるか、経済状態はどうかなど、いろいろ希望をもって新しい歩みを、喜びをもって考えてください。」
この後、乾杯と食事、ゲーム、演奏や歌、話し合いなど、和やかなうちに終了しました。

次回例会は2月16日(日)　当番はA地区です。

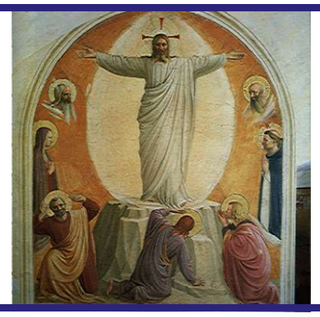
ミ サ 当 番 表　(2003年 2月、3月)

月/日	主　日	司式司祭	朗読、奉納	侍　者	オルガン
2/2	主の奉献	上杉神父	壮年会	石崎	岩渕
2/9	年間第5主日	カンペン神父	青年会	下迫(瑤)	森田
2/16	年間第6主日	作道神父	婦人会A地区	下迫	岩渕
2/23	年間第7主日	関根神父	壮年会	石井(大)	森田

月/日	主　日	司式司祭	朗読、奉納	侍　者	オルガン
3/2	年間第8主日	関根神父	壮年会	石崎	保科
3/9	四旬節第1主日	関根神父	青年会	下迫(瑤)	岩渕
3/16	四旬節第2主日	カンペン神父	婦人会B地区	下迫	森田
3/23	四旬節第3主日	上杉神父	壮年会	石井(大)	保科
3/30	四旬節第4主日	上杉神父	婦人会B地区	石崎	岩渕

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員 (萩原氏 : ℡ 802-6258) 迄お申し出下さい。

広報 なかわだ
第287号
2003年 2月号



2月の予定

委員会	2月　9日
壮年会、婦人会	2月 16日
サロン	2月　9, 23日
レジオ	2月 14, 21日

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

平成15年2月9日

「主の洗礼の祝日」の福音から

(マルコによる福音・1:7～11)

森田　満義 神父

イエス様がヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。ヨハネが授けていた洗礼は、罪の赦しを得させるための悔い改めの洗礼である。罪のないイエス様がどうして「罪の赦しを得させるための悔い改めの洗礼」を受けなければならなかったのか。

第一朗読・イザヤ書に、「それは私の望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす」とある。イエス様の使命とは、父なる神様の望みに従って、わたしたち全人類の罪を背負い、わたしたちのために命を捧げて、人間を悪から開放し、神の永遠の生命にわたしたちを参与させることである。そのために、イエス様は人々が受けていたようにヨハネから洗礼を授かったのである。

また、同じマルコによる福音書に「このわたしが飲む杯を飲み、わたしが受ける洗礼を受けることができるか」(マルコ・10:38b)、「キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです」(ロマ書・6:3b,4)。「わたしが飲む杯」、「わたしが受ける洗礼」、「死にあずかるための洗礼」などの聖書の言い方は、「神の意思にかなったこと、だれもが謙遜に受け入れるべきこと」のように理解される。

イエス様がヨハネから洗礼を受けられたことは、神様の意思にかなったこと、父なる神の望みであった。御父の望むことを成し遂げるため、御父が与えた使命を果たすためであったのである。それは、全ての人々を救われる、という使命である。

イエス様が洗礼を受けられてから、「天が裂けて、霊が鳩のように御自分の降って来るのをご覧になった」と言っている。「天が裂けた」とは、恐らく、神様の世界（歴史）への決定的介入を示す言葉であろう。しばらくの間、神様は黙していたが、今や、最終的に、語り始められたのである。もっとも、差し当たってはその御声を聞き取られたのは、御子イエス様だけであるが。(※ヨハネス14:6～14)

しかし、天からの声は「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」と言って、「神の子」としてのイエス様の身分を人々に宣言する。それは神であり、救い主であり、王であるキリストという身分である。わたしたちの中に入ってこられ、全ての人々を救ってくださる御方であることを示して下さったのである。

平成15年度信徒総会議事録

開催日：2003年1月26日(日)ミサ後　　出席者：49名

① 開会の祈り　(花坂委員長)

② 花坂委員長挨拶：　「巡回教会になるのではないかとか、いろいろ噂が流れているが、カンペン神父様の言葉をかりれば75%の確率で、神父様が来られる予定。教区の典礼委員会からの指摘もあって、いろいろ変えていかねばならない点もある。教会財政もだいぶ支障を来たすことになってきたので、各位には一層の協力をお願いしたい。」

③ カンペン神父様メッセージ(花坂委員長代読)：　「今日は欠席で残念です。山崎神父様のなさった働きに対して感謝の意を表したい。中和田の共同体が優先してやらなければならないことは何か?　皆で考え求めて いきましょう。」

④ 平成14年度決算報告（甲斐委員）—資料参照

✪一般会計　　月定献金納入者：95口⇒89口に減少。　祭儀費：ミサ謝礼増加により予算を超過(約10万円)。 消耗品費：予算超過（香炉つり、香部屋のミニロッカーなど臨時支出あり)。

✪建設会計　　納入者口数、月額ともに減少。但し信徒会計からの補足、信徒特別献金によって収入総額は増加。予算外支出として、テント修理、電気修理などあり。

✪愛の献金　　臨時指定献金は、ペシャワール会への30,000円。

✪信徒会計　　バザー収益が予算より多かった。繰越金も予算を超えることが出来た。

⑤会計監査報告（清水氏）　1月25日に、銀行残高証明等も含めて詳細に監査し、問題は全くなかった。

⑥一粒会報告（宮崎委員）—資料参照—　　会議、活動、会計に関して報告。

⑦平成15年度予算案説明（甲斐委員）—資料参照

✪ 一般会計：　新しい主任神父様が5月においでになるなど、従来と変わったこともあり、また見通しもきかない。月定献金納入者口数は91口に見積もった。月額も増やしてある。　祭儀費についても、ミサ謝礼も増やしてある。(20回程度を予定している)。　謝礼の額は、カンペン神父様の指導もあり、1回13,000円としてある。また支払う対象の神父様は、他教区の神父様だけとする。　司祭給与(含、賞与分)：5月から新しい神父様にお支払いする金額を、月額15万円(5月以降)として計上。　なお、H14年12月～4月については、毎月15万円からミサ謝礼、留守管理費、交通費を差し引いた額を「教区内寄付金」として教区に納める。(19万円を計上)

✪ 建設会計：　こちらも口数を増やしてある。当年で返済完了。新しい神父様がこられることに伴う改造費を予算化してある。建設借入金返済が今年度で終了するが、今後現在の建設献金をどうするかについて、考え方としては、今後のことを考えてそのまま継続、一般会計への統合、中止などいろいろな考えがある。しかし、基本的には最終財務責任者は新しい主任司祭なので、新しい神父様を待って結論を出す。

✪ 愛の献金：　特別なことなし。

✪ 信徒会計：　バザー収益を50万円として予算化。

⑧ 教会委員会　委員改選：　今年は改選を行なわない。　典礼委員の位田さん、小山さんの復帰までの代理として、青柳恵代さん、荒木捷子さんを承認。　第5地区福音宣教委員交替：山本仁さん、小野和江さん新任の紹介。

⑨ 第5地区宣教委員会報告

✪内藤委員から：　H14年に例会は3回あった。（メンバーは7教会＋3修道会）
平和旬間ミサの担当が第5地区であった。　会計報告2002年度：13万余

✪小野寺委員から　(湘南セミナーの件)
既にセミナーは10年経過した。セミナー本来の主旨は、教会に足を運んだことのない人達が対象だった。しかし、来場者の80%が信者だった。教会外の人にアピールするにはどうすればよいのか。若い人にアピールするにはなどが課題。中学、高校の教会ばなれの問題。「高齢化だから…」はちょっと違う。「若さ」を年齢とは別な次元で捉えるべきだ。
梅村司教の言う「交わりの教会」を実践していきたい。六つの「合い」、①祈り合い　②交わり合い　③分ち合い　④支え合い　⑤チャレンジし合い　⑥派遣し合いのうち、もっとも不足しているのは「チャレンジし合うこと」。

⑩ 年間行事予定の説明(福島委員)　—資料参照—　　新しい神父様が来られることもあり、予定の変更がいくつかあると予想される。赦しの秘蹟は日程未定。バザー：従来より1週間前倒しして10月19日を予定。

⑪ 質疑応答

✪ 今年の初聖体は、復活祭(4月20日)行なう。　(井上委員；カンペン神父様了承済み)

Q：東原氏⇒建設借入金の返済完了の話があったが？

A：甲斐委員⇒三つほど考え方があるが、献金を続けるとすれば目的をどうするかが問題。　(①教会建直しの準備　②一般会計の苦しいおり、統合する　③中止する)　新しい神父様が来られてから決める

✪ 内藤委員追加発言：平和旬間ミサで石井さん上野さんにポスターを書いていただいた。お礼を言いたい。

Q：花坂委員長⇒第5地区行事の予定表を出してもらえるか？

A：内藤委員⇒掲示し、広報にも載せる。

Q：山本さん⇒バザーの予定は11月がよいとの話が婦人会で出たが？

A：花坂委員長⇒10月19日はあくまで予定。今後例会でいろいろ検討していただきたい。

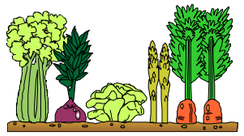
Q：阿部(寿)さん⇒現在掛けている火災保険の中身は？　総合保険で盗難はカバーされるのか？

A：甲斐委員⇒確認する

⑫ 阿部副委員長から：　留守管理当番を6名の方に依頼してある。手当てを支払い、責任をもってやって頂く。(月曜日～金曜日までの午前10時～午後3時まで)　　山崎神父様容態は、経過があまりよくない。清水氏と共に林神父様に相談し、落着き先の検討をすることになろう。

⑬ 閉会の祈り　(阿部副委員長)

以上.



「畑作業小屋」の完成に当って

七浦　鑑吉

教会の裏側にある「物置」のとなりに、新しく「畑作業小屋」が出来あがりました。

現在教会の隣に畑が作られておりますが、ここは以前雑草が生い茂る荒地でしたが、そこを松下さんや中谷さんたち有志の方々がコツコツと開墾されて、今ではどこの農家の畑だろうかと思われるほどの立派な畑に生まれ変わり、野菜や花が作られております。

この畑作業の道具や、教会庭の花壇などを手入れする道具類を片付けておく場所が欲しいと以前から話が出ており、「作業小屋を作るには…」の話が始まって、松下さんのご厚意によって建物の材料を分けていただくことになり、鉄枠のパイプや床・棚の木材など費用の大半をご寄付いただいて、教会の負担は10分の１ほどの出費で作ることができました。

建設の担当は主に古田さんが頑張ってくださり、福島さんや私も手伝いましたが、立派な作業小屋が出来あがったところです。

畑でとれた収穫物は、神父様の食材にも活用され、また教会のクリスマス・パーティーなどのとき豚汁などにも材料として使われ、みなさんの口にも入っているところです。

また、この工事といっしょに台所の日よけも立派に作られ、台所入り口のところがとってもきれいになりました。

このように、教会が少しづつきれいに整備されていくことを嬉しく感じているところです。今後は、この作業小屋が教会の外回りの美化にも大いに活用されることを期待して、完成のお知らせをさせていただきます。

一度是非「作業小屋」をご覧になってみてください。そして興味のある方は、松下さんたち有志のみなさんとご一緒に畑作業や教会の美化活動に参加してみませんか？

お知らせ

(第５地区福音宣教委員会より)

主な行事予定

1月25日(土)	キリスト者一致のための合同祈祷会　(於:聖マルコ教会ー藤沢ー)
2月11日(火・祝)	横浜教区典礼研修会　(於:藤沢教会)
3月9日(日)	県内合同の入信志願式　(於:藤沢教会)
5月～7月・	第4日曜日午後　教区聖体奉仕者養成講座　(於:藤沢教会)
5月18日(日)午後	ゴスペルコンサート(於:片瀬教会)

泉区民クリスマス

ハーモニカ演奏　小谷さん

擬音効果　　七浦さん、竹内さん

ヨハン・シュトラウス作曲

「クラッフェンの森」「登山電車」

中高生会春休み合宿

藤沢教会の中高生会では、春休みに2泊3日程度の合宿を予定している。昨年のスポーツ大会のように是非第5地区の教会と合同で行ない、交流を深めたい。

ホームレス支援

藤沢教会内に事務局をおく、ホームレス支援のためのNPOでは、茅ヶ崎に支援センターを作った。また、訪問活動、行政との交渉、月に一度の炊き出しと話し合いを行なっている。今後湘南台センターでも炊き出しと話し合いを行なう予定。